

記入例

様式第2号(第10条関係)

防火対象物使用開始届出書

富岡甘楽広域消防本部 消防長 様		○年 ○月 ○日 届出年月日	
個人:住所、電話番号、氏名を記入する。 法人:主たる事務所の所在地、電話番号、名称、 代表者氏名をする。		届出者 住所〇〇市〇〇町〇〇番地(電話〇〇-〇〇〇〇番) 氏名〇〇〇〇	
所在地	住所〇〇市〇〇町〇〇番地		電話〇〇-〇〇〇番
名称	〇〇〇〇	主要用途	事務所等
建築確認年月日	〇〇〇〇	建築確認番号	第 〇〇〇〇号
※ 消防同意年月日	防火対象物の名称を記入する。 テナントの場合は、所在地欄の建物名称(ビル名称等) と階数を記入し、名称欄にテナント名称を記入する。		第 号
工事着手 年月日	〇年〇月〇日	工事完了(予 定)年月日	〇年〇月〇日
		使用開始(予 定)年月日	〇年〇月〇日
他の法令による 許認可	実際に建物を使用 する日付		
敷地面積	〇〇〇m ²	建築面積	〇〇〇m ²
		延べ面積	〇〇〇m ²
従業員数	〇〇人	公認時間又は 従業時間	〇〇時〇〇分から〇〇時〇〇分
屋外消火せん動力 消防ポンプ消 防用水の概要	一日における最大勤務者数	テナントの場合は、テナント占有面積 がわかるように記入する。	
その他 必要な事項			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	
※欄は、記入する必要はありません。			

防火対象物棟別概要(第 号)	用途		構造				特殊消防用 設備等の概 要	
	種類 階別	床面積 m ²	用途	消防用設備等の概要				
				消火設備	警報設備	避難設備		消火活動 上必要な 施設
	1階	〇〇	事務所	消火器	自動火災 報知設備	誘導灯		
	2階	〇〇	事務所	消火器	自動火災 報知設備	誘導灯		
	3階	〇〇	事務所	消火器	自動火災 報知設備	誘導灯 避難器具		
	階ごとに記入する。		各階に設置されている消防用設備等をすべて記入する。					
	階		テナントの場合：占有階と占有部分の面積が分かるように記入する。					
	階		また、建物の各階の床面積等が分からない場合は、未記入でも差し支えない。					
	計	〇〇		消火器	自動火災 報知設備	誘導灯 避難器具		

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「様式第1号の2防火対象物棟別概要追加書類」に必要な事項を記入して添付すること。
- 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 建築面積及び延べ面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
- 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。
- 防火対象物の配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書(消火器具、避難器具等の配置図を含む。)を添付すること。

消防用設備等の仕様書及び試験結果表等